

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

東京平和運動センター ニュース

NEWS

■ 2013年 2月号 月1回発行 118号

■ 発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■ 発行人：本橋 益男 TEL・FAX 03-5443-4110



「1.27 NO OSPREY東京集会」
壇上に沖縄県の市町村長・議員など140人
【日比谷野外音楽堂】

目	次
つながろうフクシマさようなら原発大集会	2
NO OSPREY東京集会	4
朝鮮学校はずしにNO	6
狭山事件の再審を求める	7
活動報告・今後の日程	7

3.9 明治公園 「つながろうフクシマ！ さようなら原発大集会」に 大結集しよう

3月9日大集会へのアピール

わたしたちは、福島原発事故以来、原発社会からの脱却をもとめる全国のひとたちとともに、署名運動と数度にわたる集会やデモを開催して参りました。しかし、すでに福島の子もたちに、甲状腺の異常が発見されるなど、環境と人間にとって影響があらわれはじめています。

それでもなお、野田政権は大飯原発を再稼働させて世論を憤激させ、抗議行動を拡大させ、脱原発の世論に火をつけました。この世論に押されて、野田政権もようやく「脱原発」の方針を掲げるようになりました。

が、ときすでに遅く人心は野田政権を離れ、解散選挙に追い込まれた結果、原発問題になんの決着もつけないまま、新政権と交代しました。

安倍新政権は、憲法改悪、国防軍の創設、集団的自衛権の行使などを標榜するばかりでなく、原発の維持・再稼働にこだわり、新規増設にさえ含みを持たせています。

しかし、わずか四割ほどの得票によって七割の議席を得るにいたった新政権は、自らの勝利を、自分たちへの信任、いわんや原発維持政策への承認と勘違いしてはなりません。有権者の期待を裏切った旧政権にたいする不信と不満が生んだこの選挙結果に慢心せず、世論が圧倒的に脱原発を支持していることを肝に銘じるべきです。

わたしたちは、福島の大惨事の反省もなく、被災した人びとを放棄して再稼働に急ぐ暴政を認めることはできません。活断層だらけの日本列島で、原発を増設・稼働させようとする自殺行為は、さらに許すことはできません。

したがって、わたしたちはつぎの政策を要求し、三月九日に明治公園に集結して民意を示すことを呼びかけます。

- 一、原発は速やかに廃炉作業に入る。
- 二、原発の新増設は認めない。
- 三、再処理工場、高速増殖炉（もんじゅ）の運転を認めない。
- 四、再生可能エネルギーの普及・開発を最大限に促進する。
- 五、廃炉の過程における原発立地自治体への経済的支援を政策化する。

『さようなら原発』一千万署名 市民の会
呼びかけ人

内橋 克人	大江健三郎	落合 恵子
鎌田 慧	坂本 龍一	澤地 久枝
瀬戸内寂聴	辻井 喬	鶴見 俊輔

つながろう**フクシマ!** さようなら**原発**
大行動

■日時：3月9日(土) 14:00開会 15:15パレード出発 (11:00 プース開始、12:00 トークセッション)
 ■場所：明治公園 (JR総武線「千駄ヶ谷」徒歩3分 地下鉄大江戸線「国代駅」徒歩2分 地下鉄都営線「外苑前」徒歩15分)
 ■内容：発言：内橋克人(東京大学)、大江健三郎(作家)、落合恵子(作家)、鎌田慧(フリーライター)、澤地久枝(作家)、広瀬隆(作家)、福島から
 ●つながろうフクシマ! さようなら原発 講演会
 ■日時：3月11日(月) 18:30~20:30 ■会場：きゅりあん (JR京浜東北線「大井町」すぐ)
 ■出演：出演：内橋克人(東京大学)、大江健三郎(作家)、澤地久枝(作家)、清水修二(福井大学教授)、吉岡高(九州大学教授、著作家)
 対談：坂本龍一(作家)×後藤正文(ASSAN KUNG-FU GENERATION)
 ■主催：さようなら原発一千万署名 市民の会
 (内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔)
 ■連絡先：さようなら原発1000万人アクション実行委員会 <http://sayonara-nukes.org/>
 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F 原水禁営付 TEL.03-5269-8224 FAX.03-5289-8223
 ●原発のない福島を! 県民大集会 3月23日(土) 第一部11:00~アトラクション 第二部13:00~県民大集会
 ■場所：福島市、あづま総合体育館(福島駅からシャトルバスあり)
 ■主催：原発のない福島を! 県民大集会実行委員会 <http://fukushima-kenmin311.jp/>
 ●0310原発ゼロ大行動 3月10日(日) 13:00~
 ■場所：日比谷野外音楽堂 主催：首都圏反原発連合 <http://coditionagainstnukes.jp/>

3.9 「つながろうフクシマ！ さようなら原発大集会」

日時：3月9日（土）11:00～
会場：明治公園（JR「千駄ヶ谷駅」5分、
地下鉄「国立競技場駅」2分）
12:00 オープニングライブ
12:25 リレートーク
福島から、東海村から、福井から、
原子力資料情報室から
踊りと歌「エイサー」
13:25 集会オープニングライブ
14:00～15:00 集会
＜集会発言者（五十音順）＞
内橋 克人 大江 健三郎
落合 恵子 鎌田 慧
澤地 久枝 広瀬 隆
※福島から（調整中）
15:15 パレード出発
※パレードは2コースに分けて行う予定です。
主催：さようなら原発一千万署名 市民の会

3.11 「つながろうフクシマ！ さようなら原発講演会」

日時：3月11日（月）18:30～20:30
会場：品川区立総合区民会館「きゅりあん」
（JR、東急、りんかい線「大井町駅」1分）
※資料代：500円
＜開会のあいさつ＞
鎌田 慧
＜講演＞
内橋 克人 大江 健三郎
坂本 龍一＋後藤 正文（ASIAN
KUNG-FU GENERATION）※対談
澤地 久枝 清水 修二（福島大学教授）
吉岡 斉（九州大学教授・副学長）
＜閉会のあいさつ＞
落合 恵子
主催：さようなら原発一千万署名 市民の会

◇福島では3月23日に
地元主催の集会が開催されます！◇

3.23 原発のない福島を！ 県民大集会

日時：3月23日（土）10:00開場
会場：福島市・あづま総合体育館
（JR福島駅より「佐原」「四季の里」行き
バス室石付近下車、駅からタクシーで25分）
11:00～
第1部「被災地はじめ福島県に伝わる民俗
芸能」
13:00～
第2部「県民大集会」15:00 終了予定
※サブアリーナにて出店、展示あり
（10:00～15:30）
主催：「原発のない福島を！県民大集会実
行委員会」
問い合わせ：実行委員会事務局
（tel.024-522-6101 fax.024-522-5580 福
島県平和フォーラム内）
※当日は福島駅より臨時バス運行予定、内容
等の詳細は地元実行委員会が調整中。

オスプレイ反対！政府は沖縄の声を聞け！

1.27 NO OSPREY 東京集会

沖縄から全ての市町村長と、県議会議員、市町村議員など約 140 名参加

沖縄の米軍基地へのオスプレイの配備撤回、普天間基地の閉鎖・撤去を求めて、1月27日に「NO OSPREY 東京集会」が、日比谷野外音楽堂で開かれ、4000人以上が参加しました。昨年9月9日に沖縄で10万人が参加して開かれた「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」実行委が主催し、沖縄からは初めて41の全市町村長をはじめ、全政党・会派の県議会議員、市町村議員など約140名が参加。これに平和フォーラムの参加団体や首都圏などの



沖縄県人会、市民団体などが参加し、会場は立ち見も含めてあふれました。

主催者あいさつに立った喜納昌春・県議会議長（実行委共同代表）は、「沖縄県民の総意を無視して政府は配備を強行し、さらに追加も計画されている。全国各地でも飛行訓練が予定され、沖縄と同じ危険にさらされる。明日、安倍政権に直訴する」と決意を表明。市町村代表からも、「安倍首相は日本を取り戻すと言っているが、その中に沖縄は入っているのか」（翁長雄志・市長会会長）、「全ての自治体から参加することは歴史的なことだ。沖縄の痛みを知ってもらいたい」（城間俊安・町村会会長）、「10万人の集会を開いても配備が強行された。沖縄への差別でないか」（永山盛廣・市議会議長会会長）、「沖縄では県議会、全41市町村議会で反対決議をしている。1日でも早く撤去させよう」（中村勝・町村議会議長会会長）などと、オスプレイの配備に抗議し、撤去を訴えました。

こうした訴えを安倍首相に直接届けようと、

「オスプレイの配備を直ちに撤回すること」

「米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること」を求めた「建白書」が確認されました。行動提起に立った玉城義和・実行委事務局長（県議会議員）は、「沖縄の課題は沖縄だけで解決できない。各地で国民的運動を起こしていこう」と呼びかけました。最後に仲村信正・連合沖縄会長（実行委共同代表）の発声で、会場全体でガンバロー三唱を行って集会を終えました。

集会後、参加者は日比谷公園から銀座を通り、東京駅までのデモ行進を行い、プラカードや横断幕を手に、道行く人たちにアピールをしました。沖縄代表団は28日に、政府への要請行動を行いました。（平和フォーラム報告）

平成 25 年 1 月 28 日

内閣総理大臣

安 倍 晋 三 殿

建 白 書

我々は、2012年9月9日、日米両政府による垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの強行配備に対し、怒りを込めて抗議し、その撤回を求めるため、10万余の県民が結集して「オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会」を開催した。

にもかかわらず、日米両政府は、沖縄県民の総意を踏みにじり、県民大会からわずかひと月も経たない10月1日、オスプレイを強行配備した。

沖縄は、米軍基地の存在ゆえに幾多の基地被害をこうむり、1972年の復帰後だけでも、米軍人等の刑法犯罪件数が6,000件近くに上る。沖縄県民は、米軍による事件・事故、騒音被害が後を絶たない状況であることを機会あるごとに申し上げ、政府も熟知しているはずである。

とくに米軍普天間基地は市街地の真ん中に居座り続け、県民の生命・財産を脅かしている世界一危険な飛行場であり、日米両政府もそのことを認識しているはずである。

このような危険な飛行場に、開発段階から事

故を繰り返し、多数にのぼる死者をだしている危険なオスプレイを配備することは、沖縄県民に対する「差別」以外なものでもない。現に米本国やハワイにおいては、騒音に対する住民への考慮などにより訓練が中止されている。

沖縄ではすでに、配備された 10 月から 11 月の 2 ヶ月間の県・市町村による監視において 300 件超の安全確保違反が目視されている。日米合意は早くも破綻していると言わざるを得ない。

その上、普天間基地に今年 7 月までに米軍計画による残り 12 機の配備を行い、さらには 2014 年から 2016 年にかけて米空軍嘉手納基地に特殊作戦用離着陸輸送機 CV22 オスプレイの配備が明らかになった。言語道断である。オスプレイが沖縄に配備された去年は、いみじくも祖国日本に復帰して 40 年目という節目の年であった。古来琉球から息づく歴史、文化を継承しつつも、また私たちは日本の一員としてこの国の発展を共に願ってもきた。

この復帰 40 年目の沖縄で、米軍はいまだ占領地でもあるかのごとく傍若無人に振る舞っている。国民主権国家日本のあり方が問われている。

安倍晋三内閣総理大臣殿。

沖縄の実情を今一度見つめて戴きたい。沖縄県民総意の米軍基地からの「負担軽減」を実行して戴きたい。

以下、オスプレイ配備に反対する沖縄県民大会実行委員会、沖縄県議会、沖縄県市町村関係 4 団体、市町村、市町村議会の連名において建白書を提出致します。

1. オスプレイの配備を直ちに撤回すること。及び今年 7 月までに配備されるとしている 12 機の配備を中止すること。また嘉手納基地への特殊作戦用垂直離着陸輸送機 CV22 オスプレイの配備計画を直ちに撤回すること。

2. 米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内移設を断念すること。

「12.23 オスプレイ配備撤回！米兵による凶悪事件糾弾！怒りの御万人大行動」

12 月 23 日に沖縄県宜野湾市の海浜公園野外劇場で「オスプレイ配備撤回！米兵による凶悪事件糾弾！怒りの御万人（ウマンチュウ）大行動」が行われました。県内各地で反基地闘争を展開している活動団体をはじめ、全国各地の平和フォーラム関係団体を含め、約 3000 人が参加しました。

主催実行委員会を代表し、沖縄平和運動センターの崎山嗣幸議長が「オスプレイは何度も事故を起こしている危険な飛行機だ。県民総ぐるみでオスプレイの強行配備に反対してきた。総選挙で自民党中心の政権が出来ようとしているが、米軍基地撤去まで闘う」と決意を表明。平和フォーラムの藤本泰成事務局長も「自民党はさっそく辺野古への基地移転を言い出している。沖縄は 40 年前に平和憲法の日本に復帰したはずだ。憲法改悪を許さず、オスプレイ撤去に向けてともに闘おう」と呼びかけました。

現地報告では、普天間米軍基地から爆音をなくす訴訟団の桃原功事務局次長が「沖縄はあまりにも差別をされている。この怒りを政府にぶつけたい」と訴え、辺野古での新基地建設に反対しているヘリ基地反対協議会共同代表の安次富浩さんも「2014 年の名護市長選挙が重要だ。稲嶺市政を継続して基地を作らせない」と決意を表明しました。

最後に「無謀な犠牲の押しつけを強要する日米政府、米軍当局に決然と対峙し続ける」との集会アピールを満場の拍手で確認して集会を終えました。

東京平和運動センターからも 16 名が参加、その後、高江ヘリパッド反対の現地の仲間たちとの連帯行動などを行いました。

朝鮮学校はずしにNO!

朝鮮学校への補助金停止はNO!

全国集会&パレード

すべての子どもたちに
学ぶ権利を!

3/31
(日) 午後1時

集会会場
日出谷野外音楽堂
開場:12時 開演:午後1時~3時
集会終了後パレード

主催
「朝鮮学校はずしにNO!」3.31全国集会実行委員会
連絡先 総務部 080-3930-4971
東京 渋谷区 090-9804-4196

朝鮮学校「高校無償化」適用を!

高校無償化制度から朝鮮学校を排除するための省令改「正」に反対する平和フォーラム声明

2013年1月28日

(前文略)

高校無償化制度は「教育の機会均等に寄与すること」を目的として、2010年、民主党政権のもとで実現されました。国連人権規約A規約（社会権規約）における「中等・高等教育の無償化の漸進的導入」の条項について、日本は社会権規約委員会などの勧告にも従わず、この条項を長く留保してきましたが、2012年9月留保を撤回しています。この国連人権規約A規約では「人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治的意見その他の意見、国民的もしくは社会的出身、財産、出生または他の地位によるいかなる差別もなしに行使されることを約束する」と厳密に規定しています。

このように、高校無償化制度は国際的人権水準に見合った制度であり、またその教育の機会均等という目的からも差別なく適用されるべきものですが、しかし、日本と国交を持たず両国間に政治的課題があることを理由に、朝鮮学校への適用を

見送ってきました。国連人種差別撤廃委員会は、2010年の日本政府への総括所見において「外国人学校や韓国・朝鮮出身者および中国出身者の子孫のための学校への助成金などの差別的取り扱い」

「高校無償化から朝鮮学校を排除しようとする政治家の発言」などへの懸念を表明しています。

下村博文文部科学大臣は、「拉致問題の進展がなく教育内容や人事に関して朝鮮総連の影響があり国民の理解が得られない」とし、これまでの民主党政権による、「無償化措置の適用は人権問題であり政治的外交的配慮すべきでない」とする考え方を否定しています。しかし、国民的理解が得られないとする発言には何ら根拠がありません。拉致被害者の方の中にも、そのことを理由とした朝鮮学校への差別は許されないとする主張があります。この下村大臣の発言は国際的に通用するものではなく、日本が外国人差別・民族差別を容認する国であることを世界に知らしめるものであり、日本の国際的評価を貶めるものです。

東京都は、現在1964年以来のオリンピック開催をめざし、有名スポーツ選手を起用するなど招致運動に力を注いでいます。石原慎太郎前東京都知事は、都民や日本国民の招致に対する意欲が不足していると述べていますが、しかし、石原前都知事の度重なる民族差別発言、そして朝鮮学校への補助金を停止するなどの差別的な政策が、オリンピックの根本原則「人種、宗教、政治、性別、その他の理由に基づく国や個人に対する差別はいかなる形であれ、オリンピック・ムーブメントに属することとは相容れない」という規定に抵触することは明らかではないでしょうか。

平和フォーラムは、朝鮮学校への高校無償化制度適用を訴えてきました。高校無償化制度を朝鮮学校を含むすべての外国人学校に差別なく適用し、日本に住むすべての人々の間にいかなる差別も許さない、多民族多文化共生社会として出発する決意を示さなくてはなりません。そして、このことを実現することこそが、グローバル化のすすむ世界の中であって、日本社会の未来を担う若者たちが、ほんとうに胸を張って生き生きと活躍していくための基本となっていくと考えるからです。日本政府・文科省が省令改「正」を行わないよう、平和フォーラムは強く求めます。

2.7 狭山事件の再審を求める三多摩集会

2月7日18時30分から、立川市女性総合センターホール・アイムにおいて、三多摩平和運動センター、狭山東京実行委員会、部落解放同盟東京都連合会、三者共催による、標記集会が開催されました。

本年は、部落差別にもとづく冤罪である、狭山事件の石川一雄さんが逮捕されて50年を迎える年にあたります。

これまでの弁護団の不屈の取り組みと大衆的運動の結果、いよいよ再審の扉が開かれようとしています。再審と無罪を勝ち取る大きなうねりが各地から作り出されています。

集会は、三多摩平和運動センター・畑議長の主催者挨拶のあと、狭山事件のDVD上映、狭山弁



護団報告を河村健夫弁護士が行いました。

石川一雄さん家族からの訴えとして、義姉の石川梅子さんが逮捕当時の苦し

い実態と長い間石川さんを支えてきた信念を切々と訴えました。

地元部落解放同盟国立支部・小島政次書記長、狭山東京実行委員会からの取り組み提起を長谷川信康議長、まとめと閉会挨拶を部落解放同盟東京都連合会・長谷川三郎委員長が行い、集会を終えました。

活動日誌

2012年

12.23 オスプレイ配備撤回！米兵による凶悪事件糾弾！怒りの御万人集会（宜野湾市）

2013年

01.17 原水禁学習会（連合会館501会議室）

01.24 狭山再審を求める足立地区集会（足立区勤労者福祉会館）

01.27 NO OSPREY東京集会（日比谷野音）

02.07 狭山再審を求める三多摩集会（立川市女性総合センター）

02.11 「建国記念の日」を考える集会（日本教育会館）

02.14 朝鮮学校を支援する都民会議（東京朝鮮高級学校）

02.18 狭山東京実行委員会駅頭ビラ（池袋）

今後の日程

02.20 狭山事件の再審を求める東京集会（18：30～台東区民会館）

02.28 平和フォーラム全国活動者会議（静岡市）

02.28 被災59周年ビキニデー全国集会（静岡市）

03.01 久保山愛吉さん墓参（焼津市）

03.02 東京大空襲68周年朝鮮人犠牲者追悼会（13：00～東京都慰霊堂）

03.03 マーチ・イン・マーチ2013（日比谷小音楽堂）

03.09 つながろうフクシマ！さようなら原発大集会（11：00～フェスタ、14：00～集会、明治公園）

03.11 つながろうフクシマ！さようなら原発講演会（18：30～品川きゅりあん）

03.23 さようなら原発1000万人アクション福島集会（福島市・県営あづま総合体育館）

03.31 朝鮮学校はずしにNO！全国集会&パレード（13：00～東京・日比谷野音）

04.06 第28回「4.9反核燃の日全国集会」「全国交流集会」（青森）

04.13～14日 オスプレイ配備撤回・米軍基地問題を考える全国集会（仮称、東京・津田ホール・日本青年館）

会費納入のお願い

東京平和運動センターは加盟団体・個人会員の皆さんの会費によって運営されています。3月が会計年度末となります。

まだ、本年度分の会費納入が済まれている皆様のご協力をお願いいたします。